

早稲田大学 教育学部 生物 講評

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	大問構成は昨年同様3題。小問数が減少し、論述の(総)字数が増加したが、総じて例年と同じく標準的な内容が多く、適切な難易度と言えるだろう。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	発生・遺伝子	初期発生と突然変異に関する設問。空欄補充(選択)1問(7ヶ所)、選択1問(2実験)、論述2問。問2については、解釈によってはEも正解となりうる。全体的に標準的な内容である。	標準
II	物質輸送・植物の応答・腎臓	物質移動をテーマとした設問。空欄補充1問(7ヶ所)、選択1問、論述4問、描図1問。論述について、問3はやや書きにくい、他は的確に解答したい。	標準
III	生態系	遷移・バイオーム・物質生産に関する設問。空欄補充(選択)1問(5ヶ所)、選択2問、論述2問、計算1問。全体的に標準的な内容である。	標準

〔総合コメント〕

全般的に教科書レベルの標準的な内容が多いため、頻出問題を多く演習することが大切である。少ない字数制限の論述に慣れておく必要もあるだろう。